

議長に新井昭安議員、

副議長に須永宣延議員を選出



6月市議会定例会は、6月4日から6月23日までの20日間を会期として開かれました。この議会では、「熊谷市税条例の一部を改正する条例」などの市長提出議案20件を審査し、14件を原案可決、5件を承認、1件の人事案件に同意しました。また、請願2件について審査しました。さらに6月4日に正副議長の選挙を行い、新しい正副議長を選出しました。

福祉環境常任委員会 正副委員長を互選

6月10日、福祉環境常任委員会において、黒澤三千夫議員を委員長に、吉原邦陽議員を副委員長に互選しました。

正副議長を選出

選挙の結果は、次のとおりです。

6月4日、松岡議長、杉田副議長の辞職に伴い、正副議長選挙を行いました。

◇議長選挙

投票総数 35票

新井 昭安・・・18票
大久保照夫・・・16票
無効・・・1票

この結果、新井昭安議員が議長に当選しました。

地域活性化対策特別委員会 副委員長を互選

6月17日、地域活性化対策特別委員会において、山田忠之議員を副委員長に互選しました。

農業委員会委員を推薦

6月23日、議会が推薦する農業委員会委員として、新井正夫議員、加賀崎千秋議員、大久保照夫議員を推薦しました。

◇副議長選挙

投票総数 35票

須永 宣延・・・19票
高橋 初・・・12票
無効・・・4票

この結果、須永宣延議員が副議長に当選しました。



副議長
須永 宣延



議長
新井 昭安

永年勤続議員表彰される

全国、埼玉県の各市議会議長会から、次の議員が永年勤続議員として表彰されました。
〔15年以上勤続表彰〕

谷 幸代 新井 昭安
林 真佐子 笠原 秀雄
滝沢 肇 新井 清次
高橋 初



永年勤続表彰を受ける7名の議員

六月定例会の概要

初日（6月4日）の本会議では、市長から「本市では、この3月から5月にかけて、全国的なスポーツイベントが数多く開催された。3月には高校女子サッカーめぬまカップをはじめ、これまで最多の

1万1,183人がエントリーした第20回熊谷さくらマラソン大会が、4月には全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会が開催され、5月15、16日には、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場において、第52回東日本実業団陸上競技選手権大会が2年ぶりに開催された。この大会は関東から北海道までの実業団所属の700人を超える選手が参加し、日本記録保持者や日本選手権優勝者なども多数活躍する大会で、私も彼らの奮闘ぶりを間近に観戦したところである。埼玉県の平成20年入込観光客「推計」調査によると、本市は県内4番目の492万9千人となっている。目的別の内訳では、各種行事、おまつり見学者が171万3,000人でさいたま市、川越市に次ぎ3位、スポーツ関係が138万人でさいたま市、川口市、所沢市に次ぎ4位となっている。今後、さくら祭やうちわ祭など各種行事の支援を行うとともに、「スポーツ熱中都市宣言」を着実に実践していくことにより、多くの皆様に本市へお越しいただくことが本市の活性化のために必要であり、重要であるものと改めて感じ

たところである。今回の補正予算は、一般会計補正予算のみで、歳出については、民生費で、市民の皆様からいただいた寄附金を市民しあわせ基金に積み立て、また、衛生費では、女性特有のがん検診推進事業に必要な経費を計上するものである。加えて、教育費では、本年2月にいただいた寄附金を活用し、図書購入費を追加するものである。続いて、歳入については、これらの事業の財源として、国庫支出金、寄附金の特定財源と併せて前年度繰越金を充てることとするものである。次に、一般議案では、3歳に満たない子のある職員に係る時間外勤務を原則免除するとともに、子の看護休暇の拡充および短期介護休暇の新設等を行う『熊谷市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例』をはじめ、地方税法の一部改正に伴い、個人の市民税に係る給与所得者等の扶養親族申告書の提出制度を定めるとともに、たばこ税の税率の引上げ等を行う『熊谷市税条例の一部を改正する条例』など18件を提案したものである。」

9日の本会議では、条例案や補正予算案に対する質疑が行われました。そして、各議案および請願が、所管の常任委員会に付託されました。10日には、総務文教常任委員会、福祉環境常任委員会および都市建設常任委員会において、また、11日には、市民産業常任委員会において、付託された議案等について審査が行われました。16日、17日、18日の3日間は、20人の議員による市政に関する一般質問が行われました。最終日（23日）の本会議では、各常任委員長から案件審査の経過および結果が報告され、質疑、討論を行い、市長提出議案をすべて原案どおり可決しました。また、議員提出議案を原案どおり可決したほか、人事案件に同意し、6月定例会は閉会しました。

可決された主な議案

◇平成22年度熊谷市一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,388万5,000円を追加し、歳入歳出それぞれ571億3,388万5,000円とするものです。

◇熊谷市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

3歳に満たない子のある職員に係る時間外勤務を免除するとともに、子の看護休暇の拡充および短期介護休暇の新設等を行うものです。



市庁舎

◇熊谷市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

「地方公務員の育児休業等に関する法律」の一部改正に伴い、配偶者が育児休業等を取得している場合および就労していない場合における育児休業等の取得等を行うことができるようにするものです。

◇熊谷市税条例の一部を改正する条例

「地方税法」の一部改正に伴い、個人の市民税に係る給与所得者等の扶養親族申告書の提出制度および非課税口座内上場株式等の譲渡に係る市民税の所得計算の特例を設けるとともに、たばこ税の税率の引上げ等を行うものです。

◇熊谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

「租税条約の実施に伴う所得税法、法人税法及び地方税法の特例等に関する法律」の一部改正に伴い、文言の整備を行うものです。



◇熊谷市立児童クラブ条例の一部を改正する条例

新たに児童クラブを開設するものです。



児童クラブ

◇熊谷市立葬斎施設条例の一部を改正する条例

熊谷市と深谷市の葬斎施設に関する事務の委託の廃止に伴い、利用者の特例に関する規定を削除するものです。

◇熊谷市火災予防条例の一部を改正する条例

カラオケボックス等における外開き戸を自動的に閉鎖する構造とすることについて定めるものです。

◇財産の取得について

はしご付消防自動車を取

得するものです。

◇埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について

加須市、北埼玉郡騎西町、同郡北川辺町及び同郡大里根町を廃し、その区域をもって加須市を設置したこと、久喜市、南埼玉郡菖蒲町、北葛飾郡栗橋町及び同郡鷲宮町を廃し、その区域をもって久喜市を設置したこと、加須市騎西町衛生施設組合、栗橋・鷲宮衛生組合、大里根町北川辺町衛生施設組合及び加須地区消防組合が解散したこと、騎西鴻巣学校給食センター組合が名称を変更したこと並びに埼玉縣市町村総合事務組合の事務所の位置に関する規定の整備を行うことに伴い、同組合規約を変更することについて協議するものです。

◇埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について

埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数が減少していることについて、同広域連合を組織する関係地方公共団体と協議するためのものです。

◇人権擁護委員候補者の推薦に同意

新井 弘一氏

請願の審査結果



松岡議長（当時）に熊谷市ムサシトミヨをまもる会から請願書が手渡される（6月1日）

◇ムサシトミヨの生息域の公共下水道の整備を早急に行うことおよび熊谷市の魚にムサシトミヨを選定することを求める請願

（審査結果・継続審査）

※詳しくは、13ページ「ムサシトミヨの生息域を現地視察！」および15ページ委員会での主な質疑・都市建設常任委員会欄をご覧ください。

◇国に対して所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出を求める請願

（審査結果・不採択）

市議会豆知識

Q 議案はどうかやって審査するのですか。

A 定例会の初日の本会議で、議案の提案説明が行われます。そして、提出された議案の多くは委員会で専門的な審査を行います。これを「委員会へ付託する」といいます。この委員会が終了した後、本会議でその審査経過と結果が報告され、賛成や反対の討論を行った後、採決を行います。

◆継続審査

議会には、本会議に提案された案件について会期中に何らかの結論が出なかった場合、会期末をもって審議未了廃案となる「会期不継続」の原則があります。

ところが、案件によっては会期中に結論を出すことのできない場合もあります。このような時は、審査を付託された委員会が閉会中でも審査ができるよう、本会議において「閉会中の継続審査に付する」という決定を行います。